そそり立つ雪壁

4月17日、立山黒部アルペンルート全線開通

Town News

広報 たてやま

TATEYAMA

5 MAY（皐月）
2010 平成22年
No. 677

CONTENTS

2・3――ピックアップニュース
4・5――カメラルポ
6・7――保健だより
8――イベント情報
9――立山町新規採用職員紹介
10・11――くらしの情報
12――きらり立山人
◉立山町食育推進計画
ダイジェスト版

http://www.town.tateyama.toyama.jp/

―子どもたちの安全性を考慮
町道 前沢中央線が開通

町道「前沢中央線」の開通式が4月1日、前沢地内で行われました。

前沢中央線は、大日橋米沢線から富山中部広域農道に至る延長約2，250mの都市計画道路です。町が平成15年度から工事を進め、今回新たに590mが開通しました。総事業費は5億4，850万円です。

前沢中央線の近くには雄山中学校や立山中央小学校があり、子どもたちの安全性を考慮して両側に幅3・5mの歩道を設けました。前沢7区の2区長の谷口清邦さんは「通学や部活動などで使用する子どもたちのためにも、広い歩道があることはよいことです。また、交通渋滞の緩和を期待しています」と話しました。

地元住民らが見守る中、関係者がテープカットを行い開通を祝いました

―立山町産米100％のご飯を子どもたちに
町学校給食センターが来年4月稼働

町内すべての小中学校に給食を提供することができる（仮称）町学校給食センターの起工式が4月8日、建設地の向新庄地内で行われました。

町学校給食センターの完成イメージ図

学校給食センターは、鉄骨造2階建て、延べ床面積約1，720㎡で、総事業費は約9億円です。

この施設は、約2，500食分の給食を調理でき、町内の小中学校に15分以内で配送が可能です。県内初となるIH式炊飯設備を整備し、立山町産米100％のご飯を子どもたちに提供するほか、床をぬらさない「ドライシステム」を取り入れて衛生面に配慮します。また、避難施設である町中央体育センターに隣接しており、災害時には避難者へ食事を提供することも可能です。

式では、舟橋町長が「新しい施設で作った炊きたてのご飯、おいしい給食を子どもたちに早く食べさせてあげたい」とあいさつしました。稼働開始は来年4月を予定しています。

地域力の維持・活性化を図ります
地域おこし協力隊員の小島さんに委嘱状

「立山町地域おこし協力隊」の委嘱状交付式が4月1日、役場で行われ、隊員で千葉県佐倉市から新瀬戸地内に移住した小島路生さん（35歳）に委嘱状が交付されました。

地域おこし協力隊は、里山地域に県外の都市住民を誘致して地域協力活動を行うことにより、地域力の維持・活性化を図るもので、総務省が平成21年度に創設した事業です。県内では立山町が最初に取り組みます。

小島さんは、国際協力機構（JICA）や国連児童基金（ユニセフ）職員として、ホンジュラスやインドネシアなどで教育支援を行ってきました。語学が堪能で、日本語、英語、スペイン語、インドネシア語の4カ国語を話すことができます。

式では、小島さんが「立山というブランドを持つ立山町に引かれて、隊員を志望しました。まちづくりに貢献できるよう、精いっぱい頑張ります」と話すと、舟橋町長が「協力隊の成果が町の発展につながることを願っています」と激励しました。

新瀬戸公民館長の長川孝之さん（末上野）は「地域に元気を与えてくれる起爆剤になることを期待しています。小島さんを支援する雰囲気づくりに努めたいです」と話しました。

小島さんは今後、お年寄りの生活支援や地域住民との交流などを行います。活動内容については、町ホームページで随時紹介します。

「まずは自分ができることから取り組んでいきたいです。長期的には、都市と農村の交流や子どもたちの心を豊かにできる活動などを考えています」と小島さんは決意を話しました。

舟橋町長から委嘱状の交付を受ける小島さん

Topics

次代を担う子どもたちを応援
子ども手当が支給されます

4月から中学校修了までの子ども一人につき、子ども手当1万3，000円／月が支給されます。

対象者　中学校修了までの子を養育している方
※所得制限はありません。

支給額
一人1万3，000円／月

支給月　6月、10月、2月

申請が必要な方　①、②のいずれかに該当する方
①新中学2～3年生の子を養育している方
②所得制限などで、児童手当を受給していなかった方（平成22年3月末現在）
※申請が必要な方には、4月に申請書用紙を郵送しました（公務員の方は勤務先での申請になります）。

申請が必要でない方
新中学1年生以下の子を養育していて、平成22年3月末現在児童手当を受給中の方。

申請に必要なもの
❶子ども手当認定請求書または額改定認定請求書
❷請求者名義の通帳の写し（見開き部分）
❸健康保険証の写し（請求者と子どものもの）
❹印鑑
※このほか、必要に応じて提出する書類があります。

申請期間　6月支給を受けるためには、5月14日㈮までに申請してください。
※9月30日㈭までに申請があった場合は、4月分にさかのぼって支給されます。

申請場所　役場健康福祉課児童福祉係（平日の午前8時30分～午後5時15分）

休日・延長窓口のお知らせ（子ども手当）

■休日窓口の受付日時
5月9日㈰午前8時30分～午後5時15分
■延長窓口の受付日時
5月10日㈪～14日㈮
午後5時15分～午後7時
※休日・延長窓口は、子ども手当の申請のみ受け付けます。
問役場健康福祉課児童福祉係☎462－9955

第6回都道府県対抗全日本中学生男女ソフトボール大会
松原さん、菊竹さん、永屋さん（雄山中）が出場

第6回都道府県対抗全日本中学生男女ソフトボール大会が3月27日、福岡県で開催され、松原名那さん、菊竹奈央さん、永屋茉美さん（雄山中3年）が女子の富山県選抜チームとして出場しました。

大会では、松原さんは2番レフト、菊竹さんは6番サード、永屋さんは1番センターでスタメン出場。優勝した栃木県選抜を相手に3人とも2打数ノーヒットに終わり、チームも0対7で負けましたが、最後まで全力でプレーしました。

「投手・打撃・守備力など、すべてにおいてレベルの高さを感じる大会でした」と振り返る3人。「もっと練習を頑張って『周りから成長したな』と思われるプレーヤーになりたいです」と今後の意気込みを話してくれました。

（左から）松原さん、菊竹さん、永屋さん

ふれあいセンターあしくら借り手を募集します

施設床面積
▶1階／228.73㎡▶2階／229.28㎡
※1階の一部は使用できません。

貸付期間
6月1日～平成24年5月31日

貸付額　1万円以上／月
※上・下水道、ガス、電気料などは借り手側の負担となります。

貸付条件　❶町が指定する区域（建物周囲および旧芦峅寺スキー場ゲレンデの一部）の除草、❷敷地内（県道からの乗り入れ道路を含む）の除排雪を行うこと

応募期間　5月6日㈭～5月14日㈮
審査は、提出していただく書類により行います。詳しくは、町ホームページをご覧いただくか、役場総務課管財係へご連絡ください。

町ホームページ
http:town.tateyama.toyama.jp/
問役場総務課管財係☎462－9967

旧芦峅寺スキー場内にあるふれあいセンターあしくら（所在地：芦峅寺31番地）

有山さんが自衛隊入隊

4月に陸上自衛隊に入隊した有山翔さん（蔵本新）の激励会が3月17日、役場で開催されました。舟橋町長が「社会に役立つため、しっかりと勉強してください」と激励。有山さんは「社会人になっても剛健の精神で頑張ります」と決意を述べました。

有山さんは3カ月にわたり、陸上自衛隊金沢駐屯地で基本教育を学んだ後、部隊に着任します。

まちの身近な話題をレポート

カメラルポ

温かく見守ってくれた学び舎に感謝

立山芦峅小学校休校式

立山芦峅小学校の休校式が３月24日、同校で開催され、出席した児童や教職員、地域住民など約100人が137年の歴史を持つ学び舎への別れを惜しみました。

長谷川邦香校長が「立山芦峅小学校で学んだ誇り、素晴らしい思い出や仲間など、かけがえのない宝物をいつまでも大切にしてください」とあいさつしました。

芦峅寺総代の佐伯信春さんが「立山芦峅小学校は文化の源であり、休校となるのは残念です。在校生の皆さんには、立山連峰のように美しくて力強い心を忘れず新しい学校へ通学してほしいです」と思いを語りました。

❶出席者全員で記念撮影 ❷惜別の涙を流す出席者もいました
❸校歌斉唱の場面。立山芦峅小はすべての人の心の中に生き続けます

地域住民から教職員に感謝の気持ちを込めて「立山かんじき」が贈られた後、出席者全員で校歌を斉唱。輝かしい歴史と伝統を持つ同校に思い出の１ページが刻まれました。

在校生は、４月からスクールバスで立山小学校へ通学しています。佐伯堅太郎くん（６年）は「新しい学校で、たくさんの友達を作ります。勉強では国語を頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。

芦峅寺の歴史や雄大な自然を楽しむ

ウォーキング交流会inあしくら

❶自分たちのペースでウォーキング ❷田中さんによるワンポイントレッスン ❸ウォーキング終了後には、町食生活改善推進協議会による野菜たっぷり豚汁が振る舞われました

ウォーキング交流会 in あしくらが３月20日、芦峅寺地内で開催され、町内の健康ウォーキング会員約180人が参加しました。

この交流会は、町民の皆さんにウォーキングを生活習慣の中で継続して取り組んでもらおうと、町保健センターが健康ウォーク「365歩のまち」健康づくり推進事業として実施しているものです。

最初に、講師で生涯学習インストラクターの田中寿美さん（富山市）が「ひざは足上、一本線上を」「ひじを振り子に」「視線は遠くへ」など、ウォーキングの基本をアドバイスしました。

この後、参加者は芦峅公民館から立山大橋までの往復約3.5㎞を歩きました。芦峅寺には、布橋灌頂会の舞台である閻魔堂や布橋をはじめ、遙望館やまんだら遊苑など、立山信仰の世界を体感できる施設が多数あります。参加者は、芦峅寺の歴史や雄大な自然を肌で感じながら気持ちよさそうに歩いていました。

参加した澤﨑文子さん（米沢）は「１年ほど前からほぼ毎日、コースを決めて歩いています。普段とは違った景色を楽しむことができて大満足です」と笑顔で話してくれました。

ゲートボールで交通マナーを再確認

第52回町春季交通安全ゲートボール大会

❶チーム「キープヘルスS」の吉秋真由美さん（下段）が選手宣誓を務めました
❷７番、第１ゲート通過！
❸横断歩道を渡る気持ちでコートに入退場します

第52回町春季交通安全ゲートボール大会が４月10日、町中央体育センターで開催され、15チーム約100人が出場しました。

町ゲートボール協会長の中川光久さんが「近年、子どもとお年寄りの交通事故が目立っています。大会を通じ、反射タスキを着用し、交通ルールを守るという習慣を身に付けてください」とあいさつし、競技がスタート。出場者は「黄色帽子と反射タスキを着用する」「コートへの入退場の際は、手を上げて左右を確認する」というルールをしっかりと守りながら、プレーに臨んでいました。

小学生で唯一出場した酒井智翔くん(釜ヶ渕小５年)は「通学では、黄色帽子をかぶることや道路の右側歩行を心掛けています。これからも交通ルールを守っていきたいです」と気を引き締めていました。

【大会結果】
❶稚子塚❷スマイリ立山❸立山楽友会、大森Ｂ

プロ選手が子どもたちに熱血指導

富山グラウジーズのバスケットボールクリニック

グラウジーズの熱心な指導を受けながら、真剣な表情で練習に取り組む参加者

男子プロバスケットボール・bj リーグの富山グラウジーズのバスケットボールクリニックが４月15日、立山中央小学校体育館で開催されました。

クリニックには、町と舟橋村のミニバスケットボールチームに所属する小学生約50人が参加し、講師の根間洋一アシスタントコーチと高橋昌史、熊谷渡選手から指導を受けました。

講師は「足を肩幅より少し大きめに広げ、曲げた両ひざの真ん中に頭が位置する状態『パワースタンス』を心掛けてください。動作に対して瞬時に対応できます」とアドバイス。参加者はパワースタンスを意識しながら、パスやシュートなどに汗を流しました。

新川ウィングスポーツ少年団の藤本千夏さん（立山北部小６年）は「グラウジーズの皆さんは、身長が高くて迫力がありました。手取り足取り教えてくれたパワースタンスを心掛けたいです」と感想を話しました。

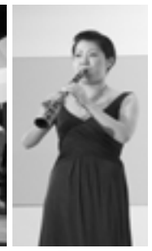
クラリネットのハーモニーを堪能

町音楽協会の恒例招待音楽会

町音楽協会の恒例招待音楽会「ダン ラヴェニールクラリネットアンサンブルとクラリネットオーケストラコンサート」が４月18日、町民会館で開催され、約450人の観客が訪れました。

ダン ラヴェニールは、クラリネット奏者の高平薫さん（前沢）が母校である国立音楽大学の学友４人と２年前に結成しました。高平さんは「町民の皆さんに演奏を披露できることがうれしいです。この気持ちを音楽に乗せます」と話して演奏。演奏後には、会場から「頑張ったぞ」と大きな歓声が起きていました。

後半では、ダン ラヴェニールをはじめ、雄山中学・高校生、町吹奏楽団員など総勢60人で結成したクラリネットオーケストラが登場し、「夏の思い出」や組曲「くるみ割り人形」などを披露。昨年11月から合同練習を重ねてきたということで、息の合ったサウンドが会場に響き渡りました。



㊧重厚な響きで会場を魅了したクラリネットオーケストラ
㊨高平さんは、演奏の合間に雄山中学校の校歌を演奏しました

高平薫さんの母親の康子さんは「娘はとても楽しんで演奏しているようで、安心して聴くことができました」と喜んでいました。

母子保健　対象地区：全地区　ところ：町保健センター　持参するもの：母子健康手帳、フッ素塗布希望の方は歯ブラシ

項目区分	実施月日	受付時間	対象者	備考
1歳6か月児健診	5月13日（木） 6月10日（木）	13：00～13：30	平成２０年１１月生まれ 平成２０年１２月生まれ	内科・歯科健診、フッ素塗布(希望者)、栄養指導、保健指導、子育て相談(臨床心理士)
むし歯予防教室	5月19日（水）	13：00～13：30	平成２０年５月生まれ	①むし歯予防の日常生活 ②正しい歯のみがき方 ③フッ素塗布(歯ブラシをお持ちください)
3歳児健診	5月20日（木）	13：00～13：30	平成１９年１月生まれ	内科・歯科・耳鼻咽喉科健診、尿検査、栄養指導、保健指導、必要に応じて視力検査、子育て相談（臨床心理士）
4か月児健診	5月25日（火）	13：00～13：30	平成２２年１月生まれ	内科健診、離乳食指導、保健指導
ベビママ相談	6月　2日（水）	13：00～13：30	平成２１年１１・１２月生まれ 母乳相談のある方は要予約	内科健診（小児科）、栄養指導（栄養士）、子育て相談・身体発達相談（保健師）、母乳相談（助産師）

健康診査・健康相談

※検診結果の一部は、受診者だけでなく町にも返送されます。これは健康管理業務での使用のためであり、他の目的で使用することはありません。

▼胸部レントゲン（結核・肺がん）

実施月日	ところ	受付時間	備考
5月　7日（金）	横江公民館	9：30～10：00	○対象者：40～64歳　・・・肺がん検診 65歳以上　・・・結核検診、肺がん検診 ○検診結果は精密検査が必要な方にのみ通知します。受診後約1カ月が経過しても通知がない場合は、精密検査の必要はありません。 ※病院や職場などで胸部レントゲン撮影を受けた方は、町保健センターへご連絡ください。
	東中野新公民館	10：15～10：45	
	下田公民館	11：00～11：30	
	岩峅公民館	13：30～15：00	
5月　11日（火）	泉寺院前	9：30～10：00	
	浦田２区公民館	10：15～11：15	
	若宮公民館	13：30～14：00	
	辻公民館	14：15～14：45	
	沢端公民館	15：00～15：30	
5月　13日（木）	新川公民館	9：30～11：00	
5月　27日（木）	松井表具店前	9：30～10：45	
	老人福祉センター	11：00～11：45	
	町保健センター	13：30～15：00	
5月　28日（金）	野口公民館	9：30～10：00	
	五百石２区荒木邸前	10：15～11：30	
	同心公民館	13：30～14：15	
	大石原公民館	14：30～15：00	
6月　9日（水）	釜ヶ渕公民館	9：15～10：30	
	米道公民館	10：45～11：30	
	野村公民館	13：30～14：00	
	末三賀西部公民館	14：15～14：45	
	沢中山公民館	15：00～15：30	

※がん検診の個人通知は74歳以下の方に行っていますが、通知のない方でも受診できます。ご希望の方は、町保健センターへお申し込みください。

▼がん検診

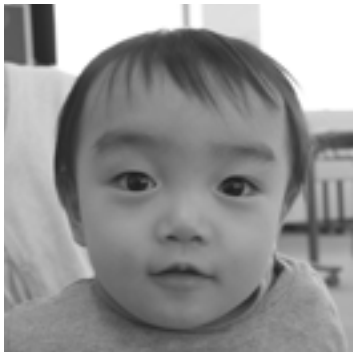
実施月日	ところ	受付時間	内容	備考
5月　10日（月）	町保健センター	8：30～9：30	大腸がん	○対象者　胃・大腸・乳房がん検診・・・40歳以上 子宮がん検診・・・20歳以上 ※40歳未満の方でも乳房がん検診を希望される方は集団検診で受診できます。 ○**がん検診は定員がありますので、事前にお申し込みが必要です。**町保健センターへご連絡ください。 ○胃、子宮、乳房がん検診はそれぞれ500円の自己負担金がかかります。ただし、節目検診、女性特有のがん検診該当の方と大腸がん検診は無料です。 ○検診結果は、約1カ月後に県健康増進センターから個人通知されます。 ○大腸がん検診には容器が必要です。検診日の5日前までに町保健センターまたは地区の胸部レントゲン会場でお受け取りください。
5月　14日（金）	岩峅公民館	8：30～9：30	胃・大腸がん	
		13：00～13：30	子宮・乳房がん	
5月　21日（金）	新川公民館	8：30～9：30	胃・大腸がん	
		13：00～13：30	乳房・子宮がん	
6月　4日（金）	町保健センター	8：30～9：30	胃・大腸・子宮・乳房がん	
6月　10日（木）			大腸がん	

予防接種　対象地区：全地区　ところ：立山町民会館 2階　持ってくるもの：予診票と母子健康手帳

項目区分	実施月日	受付時間	対象者	備考
ポリオ生ワクチン投与（春期）	5月12日（水） 5月26日（水） ※どちらか都合のよい日に受けてください。	13：00～14：20	①平成21年7月1日～平成22年1月31日生まれ（1回目） ②平成21年2月1日～平成21年6月30日生まれ（2回目） ③生後90か月までに投与を2回完了していない人	※次の状態の人は投与できません。 ①発熱している人②下痢をしている人③27日以内に麻しん、風しん、おたふく、水ぼうそう、BCGなどの予防接種を受けた人、またはこれらの疾患にかかり、治癒後1カ月以上経過していない人 ※接種会場は町民会館です。ご注意ください。

保健だより

問い合わせ先
町保健センター☎463－0618



●野中　順成（じゅんせい）くん（1歳5カ月）
元気で明るく育ってね。
パパ　順史　ママ　一美

●阿閉　雄喜（ゆうき）くん（1歳6カ月）
強くて優しい子に育ってね。
パパ　喜也　ママ　理恵

■日本脳炎予防接種のお知らせ

日本脳炎の定期予防接種は、平成17年５月から国の勧告により積極的勧奨を控えていましたが、平成21年６月から新ワクチンの使用が可能となり、接種が一部再開されることになりました。

当面、ワクチンの供給量や安全性の確保のため、平成22年度の対象者は満３歳を迎える児に対する初回接種のみ（事前予約が必要）となります。対象者には随時、案内を送付します。

また、現時点では満３歳児以外への積極的勧奨は行っていませんが、日本脳炎流行地へ渡航する方や蚊に刺されやすい環境にある方など感染の恐れが高い場合は、医師との相談の上接種が可能です。接種について相談のある方は、町保健センターへお問い合わせください。

■健康づくりボランティア養成講座受講生を募集

食生活改善推進員、ヘルスボランティア、がん対策推進員を養成するもので、講座内容は、がん予防について、心肺蘇生法（実習）、調理実習、健康ウォーク、食事バランスガイドについてなどです。受講希望の方は、町保健センターへご連絡ください。

開講日時　５月25日㈫午前10時～（全10回）
場所　町保健センター、町民会館など
応募期限　５月20日㈭　　**定員**　20人（先着順）

■ PET検査の助成券を交付します

PET検査は、放射性薬剤を用いてほぼ全身を一度に撮影するもので、がんの早期発見や転移の発見に有効といわれています。町が実施している集団検診や医療施設検診で発見できない部位のがん検診が容易に行えます。このＰＥＴ検査の１万円助成券を10人に交付します。希望の方は、PET画像センターに予約申し込みの上、町保健センターまでご連絡ください。他の助成を受けている方は、対象になりません。

検査料金　８万9,500円（助成券でうち１万円助成）
予約先　とやまPET画像診断センター☎411－5200
予約時間　午前８時30分～午後５時30分（月～金曜日）

■新型インフルエンザワクチン接種費用の償還払いについて

平成21年度接種者で生活保護世帯、町民税非課税世帯の方は、新型インフルエンザ接種費用の償還払い期間が５月６日㈭までとなりますのでお急ぎください。

■胃・大腸・子宮がん施設（医療機関）検診のお知らせ

希望の方は、受診券（対象者に送付済み）に記載されている医療機関へ事前に電話予約してください。受診券を必ず持参してください。

対象者　町内在住で40歳以上の方（子宮がん検診は20歳以上）
実施期間　▶胃がん検診／12月末日
▶大腸・子宮がん検診／平成23年２月末日
検診実施医療機関　▶胃・大腸がん検診／町内医療機関
▶子宮がん検診／富山大学附属病院、県立中央病院を除く県内医療機関
自己負担額　▶胃がん検診／1,000円▶大腸がん検診／無料
▶子宮がん検診（頸部検診）／1,700円
▶子宮がん検診（頸体部検診）／2,500円

※受診券のない方は町保健センターへご連絡ください。節目検診、クーポン検診該当者は無料です（クーポンは後日郵送します）。

■特定健診、後期高齢者健診が６月から始まります

今年度、特定健診の対象者は昭和10年９月１日～昭和46年３月31日生まれの町国民健康保険加入者です。町の指定医療機関または町が補助している日帰りドックで受けてください。また、後期高齢者健診の対象者は昭和10年８月31日以前に生まれた方です。５月下旬に受診券を送付しますので、詳しくは同封の説明書をご覧ください。なお、このほかの健診で特定健診または後期高齢者健診を受けた場合は、町保健センターへ結果をお知らせください。

■各種日帰りドックの対象者について

広報たてやま４月号の各種日帰りドックのお知らせで、町の助成を受けることができる対象者の40歳～74歳は、特定健診の扱いとなるため、昭和10年９月１日～昭和46年３月31日生まれの方となります。

■献血（全血献血）のご案内

日時　６月４日㈮12：30～16：30　　**場所**　役場正面玄関

■訂正とおわび

４月に配布した年間計画表に掲載の骨粗しょう症検診の受付時間が「PM9：30～10：30」となっていますが「AM9：30～10：30」の誤りでした。訂正しておわびします。

がん検診を無料で受けることができます

節目検診該当者およびクーポン検診該当者は、次の集団がん検診を無料で受けることができます。対象者は次のとおりです。

❶節目検診該当者
▶胃・乳がん検診／今年度、40・45・50・55・60・65歳になる方
▶子宮がん検診／今年度、20・25・30・35・40・45・50・55・60・65歳になる方
❷クーポン検診該当者
▶乳房がん検診／今年度、41・46・51・56・61歳になる方
▶子宮がん検診／今年度、21・26・31・36・41歳になる方

５月の日曜救急医療当番医

２日	植野内科医院	☎463－5030
９日	植野耳鼻咽喉科医院	☎463－5010
16日	尾崎眼科クリニック	☎463－5477
23日	たてやまクリニック	☎464－1211
30日	岩峅寺クリニック	☎483－8188
ⓔ６日	五百石整形外科医院	☎462－0001

受付：午前９時～午後５時。当日の往診および緊急以外の受診はご遠慮ください。

Event　Information

■カブトムシの幼虫掘り体験

日時　5月5日㈷午前10時～
場所　立山自然ふれあい館　　**定員**　200人（予約制）
対象者　小学生以下（幼児は家族同伴）
参加費　700円（幼虫2匹を進呈）
問立山自然ふれあい館☎462－8555

■町民フレッシュテニス教室

フレッシュテニスは、スポンジボールを使うので、初めての人でも楽しむことができます。心身ともにリフレッシュしてください。

日時　5月16日㈰午前9時～午前11時30分
場所　町中央体育センター
対象者　小学生以上（未経験者大歓迎）
参加費　無料　　**持ち物**　内履き
※運動のできる服装で参加してください。用具は協会で準備します。
◉町、町教育委員会後援
問町フレッシュテニス協会（吉川）☎463－3112

■町民体育大会総合開会式、リレーカーニバル、町民大運動会

日時　5月23日㈰午前9時から開会式
場所　町総合公園 多目的グラウンド
※集合場所は、各地区公民館のテントです。町民体育大会の各競技は、この日を中心に行います。
※雨天の場合は中止です。
問町民体育大会実行委員会事務局☎462－9983

■認知症家族介護者の集い

認知症の症状について、一緒に考えてみませんか？

日時　5月28日㈮午前10時～午前11時
場所　町民会館1階 第1会議室
※参加を希望される方は、下記までご連絡ください。
問町地域包括支援センター☎462－9088

■立山町民ウォークラリー2010

日時　6月5日㈯午前10時～※雨天決行
（受付：午前9時～、表彰：午後1時30分～）
集合場所　グリンパルよしみね
対象者　どなたでも参加できます。
（1グループ3～5人で、幼児は家族同伴）
参加費　一人300円（保険料を含む）
持ち物　弁当、飲み物、タオル、雨具
申込期限　5月25日㈫
問町中央体育センター☎463－5077

■混声合唱団「コロ パストラーレ」第4回虹のコンサート

日時　6月5日㈯午後2時～（午後1時30分開場）
場所　町民会館大ホール
内容　▶第1ステージ／TOKYO物語
▶第2ステージ／フィンランディア、手紙　ほか
▶第3ステージ／村上麻理さんによるピアノ独奏
▶第4ステージ／混声合唱組曲「山に祈る」
◉町、町教育委員会後援
チケットの販売　町民会館☎463－3535

雪の壁に感動
立山黒部アルペンルート全線開通

立山町と長野県大町市を結ぶ「立山黒部アルペンルート」が4月17日、全線開通し、約8，100人の観光客が訪れました。

雪の壁は最も高い地点で15mあり、5階建てのビルの高さに相当します。午前中は霧がかかり雪が降る天候でしたが、午後からは青空が広がり、観光客は雪と空が織り成す自然の大パノラマを体感していました。

立山黒部貫光株式会社では今シーズン、昨年の103万7，000人以上の入り込み客を目指しています。

立山・雪の大谷ウォークは5月31日㈪まで開催しています。また、室堂ターミナル屋上と立山自然保護センター3階を結ぶ歩行者専用道路（幅4m、全長70m）の両脇にそびえる「雪の回廊」は6月下旬まで楽しむことができます。

室堂ターミナルで行われたセレモニーで関係者がくす玉を割り、全線開通を祝いました

埼玉県
松本璃沙さん（左）
田中美由紀さん

会社の研修で訪れました。あいにくの空模様でしたが、雪の壁の高さに圧倒されました。次回は夏に訪れて、立山の御来光と星空を見たいです。

静岡県
関川修一さん
のりえさん夫妻

ツアーで訪れました。雪が降らない所に住んでいる私たちにとって、迫力ある雪の壁を見ることができて感激しています。すごいの一言です。

Information

図書館おすすめ ザ 一冊

■乙女の日本史
（堀江 宏樹、
滝乃 みわこ）

歴史小説はおじさんのものというイメージを覆し、「乙女」の目線で日本史をとらえたのが本書です。今はやりの歴女にもおすすめの一冊。神代から昭和までの歴史をあくまで女子目線でさらりと触れることができます。

■新着・新刊図書

▶見直したい日本の「美」日本の名湯100選（健康と温泉フォーラム）▶図解東洋医学のしくみと治療法がわかる本（丁 宗鐵）▶究極の楽典 最高の知識を得るために（青島 広志）▶就職・転職に有利な女性の資格全ガイド'11年版（成美堂出版編集部）▶円空を旅する（冨野 治彦）▶職場で災害が起きたら！労災保険給付の手続き（㈳東京労働基準協会連合会）▶はじめてつくるすてきな布箱 カルトナージュで暮らしを彩る（鈴木 輝子）▶13歳からの英語ノート（小野田 博一）▶ドイツ・ソーセージをつくる（Bernhard Gahm）▶安全な建物とは何か 地震のたび気になる"建築基準"（神田 順）

■5月の休館日
3日㈷、4日㈷、5日㈷、6日㈭、10日㈪、17日㈪、24日㈪、27日㈭、31日㈪
問立山図書館☎463－0634

介護保険アレコレ

■介護相談員派遣事業について

介護相談員は施設などを訪問し、さまざまな疑問や不安、意見に耳を傾け、問題を解決するためにサービス提供者と利用者の「橋渡し役」をします。相談内容は介護サービスをはじめ、介護保険に関することならどんなことでも構いません。皆さんからの声が、介護サービスをより良いものに変えていく第一歩になります。

現在の介護相談員
山形 千恵子（下段）、福井 哲三（利田）、野村 則子、林 清子（舟橋村）、濱田 啓二、土肥 正彦（上市町）

■5月の保険料（65歳以上の方）

特別徴収、普通徴収ともにありません。
次回の普通徴収は7月になります。前年度分で納め忘れがないかご確認ください。
問中新川広域行政事務組合介護保険課
☎464－1316

平成22年度
立山町 新規採用職員

フレッシュで元気いっぱいな町職員9人を紹介します。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

税務課資産税係主事
北野（きたの） 陽一（よういち）

各種資産税証明発行と償却資産賦課を担当しています。立山の自然と人が大好きな28歳です。まだまだ分からないことばかりですが、町民の皆さんにとってなくてはならない存在になれるよう頑張ります。

農林課庶務係主事
耕作（こうさく） 綾乃（あやの）

緑化推進事業に関する業務を主に担当しています。町民の皆さんとコミュニケーションをとり、立山町の緑を育むことが目標です。日々勉強し、1日も早く皆さんのお役に立てるよう一生懸命頑張ります。

水道課下水道係技師
宝田（たからだ） 真也（しんや）

水道の工事、下水道の舗装工事の設計・施工・監督に関することが主な業務です。1日でも早く町民の皆さんのために働けるよう頑張ります。よろしくお願いします。

健康福祉課医療保険係主事
佐伯（さえき） 亜沙美（あさみ）

主な業務は、後期高齢者医療に関することです。日々勉強して、町民の皆さんに少しでも丁寧に分かりやすく情報提供したいと思っています。窓口でお会いするときは、どうぞよろしくお願いします。

農林課農地林務係技師
藤井（ふじい） 佑介（ゆうすけ）

主な業務は、土地改良事業や農道・用排水路の整備、農地・農業用施設の災害復旧工事に関することです。日々勉強の毎日ですが、早く町民の皆さんのお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。

健康福祉課健康係保健師
村崎（むらさき） 祥世（さちよ）

母子保健と機能訓練に関する業務が主な担当です。地域の子どもからお年寄りまでが健康的な生活を送れるよう支援していきたいです。自分のできることを精いっぱい行い、責任感を持って頑張ります。

教育課学務係主事
松田（まつだ） 浩希（ひろき）

主な業務は、小学校英語指導、スクールバスの運行管理、準要保護児童生徒の奨励金に関することです。早く一人前の役場職員と認められるように頑張ります。よろしくお願いします。

消防士
加藤（かとう） 優希（ゆうき）

主な業務は、火災時における消火のほか、救急や救助です。町民の皆さんのことを第一に考え、自分にできることを精いっぱいやりたいです。そして皆さんの役に立てるような消防士になります。

消防士
林（はやし） 嘉和（よしかず）

主な業務は、火災時における消火のほか、救急や救助です。消防学校で心身ともに鍛え、消防署の先輩方に少しでも近づきたいです。学校卒業後は、町民の皆さんに信頼される消防士を目指して頑張ります。

くらしの情報

■年金相談の日程

日時　5月11日㈫、6月1日㈫
受付時間
　午前10時～午後2時30分
場所　町民会館
※年金手帳・年金証書・印鑑・預金通帳などをお持ちください。
※代理の方は、相談依頼状が必要です。
※混雑時はお待ちいただくことがあります。
問役場住民環境課住民係
☎462－9962

■町犯罪発生状況（1～3月）

8件【前年比－17件】

■町の人口

平成22年4月1日現在

人口	27,783	人	（－186）
男性	13,338	人	（－90）
女性	14,445	人	（－96）
世帯数	8,959	世帯	（＋26）

（　）内は前年比

平成22年3月の人の動き

出生	15人	転入	119人
死亡	21人	転出	112人

町職員（上級職・大学卒業程度）を募集

■職種　一般事務職
募集人員　6名程度
受験資格　昭和52年4月2日～平成元年4月1日生まれの方
■職種　土木・建築技術職
募集人員　2名程度
受験資格　次の❶❷のいずれかに該当する方
❶昭和52年4月2日～平成元年4月1日生まれの方
❷昭和46年4月2日～昭和60年4月1日生まれの方で、一級建築士または一級建築施工管理技士の資格を有する方
◆**試験日**　7月11日㈰
◆**場所**　富山工業高校
◆**受付期間**
　5月6日㈭～5月31日㈪
※採用試験実施要領、受験申込用紙は5月6日㈭から役場総務課で交付します（町ホームページにも掲載）。
問役場総務課秘書人事係
☎462・9964

緊急雇用創出事業に伴う臨時職員を募集

■職種　児童福祉施設環境整備員
業務内容　町立保育所等の軽微な補修、草刈、剪定など
募集人員　1名
受付期間　5月14日㈮まで
任期　平成22年6月1日～平成22年11月30日
問役場商工観光課商工労働係
☎462・9970

6月から役場の開庁時間が変わります

国や県の制度改正に伴い、6月1日から開庁時間が次のとおりになります。
開庁時間　午前8時30分～午後5時15分
※月曜日の延長窓口は、従来どおり午後6時30分までです。
問役場総務課秘書人事係
☎462・9964

4月から小学生の通院医療費を助成

町では、4月から小学生の通院医療費を助成しています。助成内容は、一人1，000円／月を上回る通院医療費です。
4月1日以降に受診されたものが対象です。医療機関窓口でいったん医療費を支払っていただき、必ず領収書を月ごとにまとめて受診月の翌月以降に申請してください。
申請に必要なもの
❶領収書（レシートは不可。児童の氏名、保険点数などの診療明細が記載されているもの）
❷印鑑❸児童の健康保険証❹預金通帳またはキャッシュカード（ゆうちょ銀行を除く）
※受給資格について、所得制限などがあります。
問役場健康福祉課医療保険係
☎462・9956

5月の子育て支援

■西部児童館
未就園児と家族が自由に過ごせる「つどいの広場室」です。
日時　月曜日、水～日曜日の午前10時～午後5時
※火曜日・祝日はお休みです。
イベント内容　▼月曜日／絵本の読み聞かせやリズム遊び▼水曜日／赤ちゃん広場（乳児対象）▼木曜日／ちびっこ広場
問西部児童館
☎463・0622
■高原保育園
▼11日㈫／「楽しいお話聞いてみよう！」エプロンシアターみてみよう！▼18日㈫／「みんなでおしゃべり①」お友達のママと楽しくおしゃべり▼25日㈫／「カエルの製作をしよう！」すてきなカエルできるかな？▼29日㈯／パパ参加プログラム　おむつ交換（簡単マッサージ）
問高原保育園
☎463・1430
■みどりの森保育園
▼13日㈭／「ぽかぽかあったかい園庭で遊ぼう！▼20日㈭／「きれいな花をさかせよう」花の苗を植えよう！▼27日㈭／「つくってあそぼう」お家でも使える手作りおもちゃ
問みどりの森保育園
☎462・2248
■あおぞら保育園
▼6日㈭／看護師の話、身体計測▼12日㈬／アロマテラピー（バスタオル持参）▼21日㈮／かたつむりをつくろう▼26日㈬／アロマテラピー（バスタオル持参）
問あおぞら保育園
☎463・0061
■むつみ幼稚園
▼21日㈮／一緒に楽しく遊びましょう。
問むつみ幼稚園
☎462・1570

補装具の利用者負担について

4月から町民税非課税世帯の身体障害者（児）の方は、車いすなどの補装具にかかる利用者負担が無料になりました。
問役場健康福祉課障害福祉係
☎462・9957

おむつ購入助成券を支給

対象者　次の❶または❷に該当し、在宅で常時おむつが必要な方
❶要介護3・4・5の認定を受けた方
❷下肢・体幹で身体障害者手帳1種1級の方
問役場健康福祉課介護予防係
☎462・9958

みんなの税　かわらばん

■5月の税　軽自動車税（全期）
納期限　5月31日㈪
問役場税務課住民税係
☎462・9952

ふれあい農園貸付案内

町では、野菜や花などの栽培をしてみたいと思っている方を対象に農地を貸し付けします。
貸付期間　6月1日～平成23年2月末日
場所　米沢字門下割38番地（立山交番東側約100m）
年間利用料　1区画500円
申込方法　役場農林課に申込書を提出してください。
問役場農林課農政係
☎462・9973

クマにご用心

冬眠明けのクマが活発に行動する季節になりました。山に入る場合は、二人以上で行動し、ラジオや鈴など音の出るものを身に付けてください。
問役場農林課庶務係
☎462・9974

緑の募金運動にご協力を

森林や緑を国民全体で守り、豊かな生活を支えていくため、緑の募金運動が5月31日㈪まで行われています。区長や班長が募金に伺いますので、皆さんのご協力をお願いします。
役場農林課でも募金を受け付けています。寄せられた募金は、緑豊かな住みよい郷土づくりに役立てられます。
問役場農林課庶務係
☎462・9974

環境地域安全係からのお願い

▼用水にごみや刈草を絶対に捨てないでください。
▼犬や猫のふんの後始末は飼い主が行ってください。
問役場住民環境課環境地域安全係☎462・9963

公文書・個人情報開示の実施状況

平成21年度の立山町情報公開条例に基づく開示請求は5件（開示）、立山町個人情報保護条例に基づく開示請求は1件（開示）でした。
問役場企画政策課広報調査係
☎462・9968

町農業委員会委員に福島さん

土地改良区推薦の委員交代に伴い、福島昇さん（野町）が4月1日、町農業委員会委員に就任しました。任期は平成23年7月までです。

町選挙管理委員会の新役員

3月29日に行われた町選挙管理委員会役員の改選で、次の方が選任されました。
委員長　翁正紘（利田）
職務代理者　和田孝信（白岩）

精神保健福祉相談

❶**精神科医による相談（予約制）**
日時　毎月第2水曜日
　午後1時30分～2時30分
❷**保健師による面接相談、電話相談（随時）**
日時　月～金曜日
　午前8時30分～午後5時
問県中部厚生センター
☎472・1234

年金だより

■学生納付特例・若年者納付猶予制度をご利用ください

❶学生納付特例制度
学生は、所得が少なく納めることが困難なため、学生本人の所得が一定額以下の場合、在学期間中の国民年金保険料の納付が猶予される制度です。手続きは、役場住民環境課に年金手帳、学生証（写）または在学証明書、印鑑を持参し申請してください。申請は毎年度必要です。承認期間は平成23年3月までです。

❷若年者納付猶予制度
学生以外の20歳代の方で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合、同居している世帯主の所得にかかわらず国民年金保険料の納付が猶予される制度です。手続きには、年金手帳、印鑑を持参し申請してください。承認期間は7月から平成23年6月までです。
※❶❷ともに、年金を受給するために必要な受給資格期間（25年）には算入されますが、年金額には反映されません。ただし、10年以内に追納することができます。
問役場住民環境課住民係☎462－9962

役場庁舎の耐震改修工事を実施

5月13日から平成23年1月まで、役場庁舎の耐震改修工事を予定しています。工事期間中は騒音や振動などにより住民の皆さんに迷惑をお掛けすることが予想されますが、ご理解をお願いします。
なお、期間中は、庁舎南側駐車場の使用・通行はできません。
■工事に伴う執務室の移動（期間：5月6日～6月末）
工事に伴い、教育課と企画政策課まちづくり係の執務室が、現在の位置から大会議室へ移動します。また、庁舎3階では工事用の間仕切りが仮設されるため、庁舎中央階段から大会議室への通行ができません。大会議室へは庁舎東側の階段をご使用ください。
問役場総務課管財係☎462－9964

広報たてやま
編集と発行／富山県中新川郡立山町
広報たてやま　平成22年5月号　通巻677号（毎月1回1日発行）　昭和29年1月10日第1号発行

きらり立山人（たてやまびと）

第1回　松井泉樹さん（雄山高校弓道部副部長）
山下栄治さん、山下正さん（町有害鳥獣捕獲隊員）

弓道の全国高校選抜大会で優勝

松井（まつい） 泉樹（みずき）さん
17歳、前沢在住

弓道の全国高校選抜大会が3月21日、大阪府のなみはやドームで開催され、雄山高校3年（大会時は2年）の松井泉樹さんが女子個人の部で優勝しました。

松井さんは予選、準決勝ともに4射3中（4本中3本的にあてる）で決勝に進出しました。一人1本ずつ矢を放ち、的を外した人から脱落する「射詰め」で競われた決勝では、3本連続で成功させ、優勝を果たしました。

「決めた瞬間、顔がにやけましたが、優勝の実感がわきませんでした。大会後に顧問の川平俊博先生から握手されたとき『あっ』という気持ちになりました」。

練習はほぼ毎日、町営弓道場で行っています。「練習していくうちに射形がうまくなっているのが分かります。弓道をしているときが本当に楽しいです」。

川平先生は「日ごろから練習熱心です。『アドバイスを素直に聞くこと』『いろいろなことに挑戦すること』が伸びている要素だと思います」と松井さんの印象を話します。

「6月に行われる高校総体では、個人と団体で全国大会に出場したいです。そして、再び頂点を目指します」。松井さんは前を見つめていました。

真剣なまなざしで
練習に取り組む松井さん

親子で町有害鳥獣捕獲隊員を務める

山下（やました） 栄治（えいじ）さん（左）、正（ただし）さん
福田在住

町有害鳥獣捕獲隊の委嘱書交付式が4月1日、役場で行われ、猟友会に所属する23人に委嘱書が交付されました。有害鳥獣捕獲隊員は、水稲や野菜、果物の農作物被害、林産物被害などが発生した場合、町からの要請に応じて銃器や網、わなで鳥獣を捕獲することが主な役割です。

山下栄治さんは昭和50年代から捕獲隊員を務め、正さんは今回初めて委嘱を受けました。「地域を守るという使命感があります。動物の種類や生態などによって捕獲方法が変わってくるので、いろいろ人からノウハウを学んでいきたいです」と正さんは意気込んでいます。

被害は年々拡大する傾向にあり、近年はカラスやサル、クマ以外にもイノシシやカモシカ、ハクビシンなどが平地に出没して農作物を食い荒らしているそうです。「捕獲隊員が一致団結し、被害を最小限に食い止めたいです」と栄治さんは強調します。

気候が温暖になるこれからの季節は、山へ出掛ける人が増えてきます。二人は「鈴やラジオなど音が出るものを携帯することはもちろん、自分の山だと思わないことが大切です。謙虚な気持ちで入山してください」と呼び掛けました。

委嘱書の交付を受けた町有害鳥獣捕獲隊員の皆さん。30歳の正さんは最年少の隊員となります

善意銀行 ～3月受付分～

- ●5万円　粟田　貞王様
- ●10万円　石田　誠様
- ●5万円　石崎　義正様
- ●10万円　松嶋　勇様
- ●3万円　戸田　昭様
- ●5万円　越本　一雄様
- ●5万円　西野　勝美様
- ●3，579円　匿名
- ●2，264円　匿名

環境保全基金

- ●958円　生ごみ堆肥化協力金

ふるさと納税 ～3月受付分～

- ●3万円　市村　辰則様（大阪府）

ちょっと一息

▼雪の大谷を表紙に飾ろうと、立山黒部アルペンルート全線開通の取材へ。しかし、雪と霧の影響であまりいい写真を撮ることができず、天候が回復するのを待って、いったん黒部ダム方面へ向かいました。室堂に戻る途中、黒部平駅のライブカメラを見ると、青い空が…。大急ぎで戻り、何とか雪壁と空のコントラストを撮影することができました。粘り強く待つことの大切さを学んだ1日となりました。なお、今回取材をサポートしてくれた同僚のMさんに感謝します。（たつよし）

〒930－0292富山県中新川郡立山町前沢2440番地
☎076－463－1121　FAX076－463－1254
info@town.tateyama.toyama.jp

立山町食育推進計画
～食を育むものがたり～
ダイジェスト版

食育ってなあに？

食育は生きる上での基本であり、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てることです。

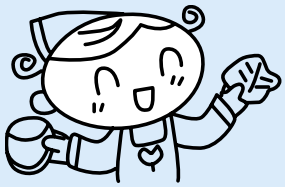
難しいことではありません。例えば、家族みんなで食卓を囲むことも食育です。子どもたちと一緒にみんなで食育を楽しんでいただくために、このダイジェスト版を作りました。広報から抜き出して、家族みんながいつも目にする所においていただければと思います。

知（し）ってる？立山町（たてやままち）の食育活動（しょくいくかつどう）

1

2

◉立山町食生活改善推進協議会の活動

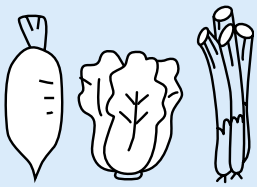


「とやま食育ちんどんソング」「食育カルタ」といった、とっても楽しい食育活動を行っています。「骨粗しょう症対策料理教室」などいろいろな料理教室も開催。皆さんも参加してみませんか？

このほか、ケーブルテレビ Net3 の「おふくろの味」や広報たてやまの「一度作ってみら～れ」（写真 1・2）などで、地元食材を使った料理を紹介しています。

◉生産者の皆さんの直売所・インショップ

立山町内にはたくさんの直売所があり、旬の新鮮な農産物が並んでいます。この季節、何がお店に並んでいるでしょうか？



立山町の食育活動はまだまだあります。身近な食育、探してみましょう！

お米（こめ）からパンが生（う）まれる！？

お米は「ごはん」ばかりでなく、なんと「パン」にも使われます。毎週月・木曜日、役場食堂前で販売中。立山町産 100％です！４月からは小学校の給食にも提供しています。

もっちりとした米粉パン。食べたことがなければつくってみよう！

■米粉 30％パンの作り方

＜材料・分量＞

▶強力粉 280 g ▶米粉 120 g ▶イースト 10 g ▶砂糖 28 g ▶塩 6 g ▶スキムミルク 13 g ▶無塩バター 60 g ▶水 200 g

＜作り方＞

【1】生地作り

❶強力粉、米粉、イースト、砂糖、塩、スキムミルクをふるいにかける。無塩バターと水を加えてよくこねる。

❷ある程度まとまったら、ボールから出して手のひらを生地に当て押し出すように力を入れてこねる。

❸表面が滑らかになったら、生地の端を持ってたたきつける。たたく度に生地が伸びるので二つに折り重ね、再度、端を持ちたたく。滑らかでしっとりとなったら出来上がり。

こねこねこね

【2】分割、丸め、ねかせ

❶生地を軽く丸め、スケッパー（へら）で 80 g程度の大きさに測り、分割する。

❷生地を手で丸め、ラップまたはぬれふきんなどをかけて 15 分ほどねかせる。

【3】成型、発酵

❶生地を手のひらで 10 ㎝程度の円形にのばし、お好みであんこや納豆、ソーセージなどを包み込む。

❷オーブンを湿度 80％、温度 38 ～ 40℃に設定し、生地を 50 分発酵させる。

【4】焼き上げ

❶オーブンを 200 ～ 230 ℃にセットし、予熱する。

❷ 15 分を目安に焼き上げて出来上がり。

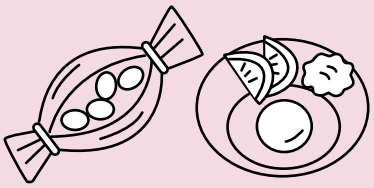
納豆

おいしそう！

「食」を知る♪

◉朝ごはんを食べよう

朝ごはんは大事！と言われます。１日の始まりに家族そろってごはんを食べるって楽しいですね。朝ごはん、やっぱり大事です。



◉郷土料理を食べよう

立山町には、コゴミやサトイモなどを昆布だしで煮た「つぼ煮」（写真左）、すりつぶした大豆をみそ汁に入れた「呉汁」（写真右）などの郷土料理があります。このほかにどんな郷土料理があるでしょう？おじいちゃん、おばあちゃんに聞いてみる？

◉立山町の農産物を食べよう

「地産地消」を知っていますか？新鮮で安全な農産物を食べることができます。立山町ではどんな農産物が採れるのでしょう。近所の直売所をのぞいてみませんか？

「食」を楽しむ★

◉農産物を育てて食べよう

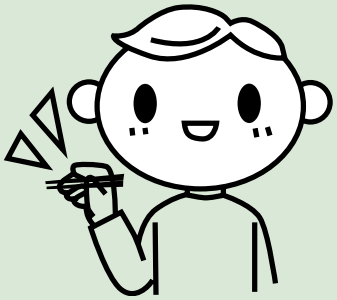
学校での農業体験（写真右）や家庭菜園。苦労して育てた農産物、食べたら･･･おいしい！楽しい！そんな気持ち大切にしたいです。

◉家庭の味を食べよう

右の写真は「男の料理教室」の一幕。手を切らないで！ヤケドしないで！ちょっとドキドキします。でも今日はお父さんが夕食を作ってみませんか？子どもたちと一緒に台所に立ってみませんか？家庭料理、再発見です。

◉美しい所作で食べよう

食は他の動物や植物の命と多くの人の苦労の結果、私たちの命を支えています。感謝の気持ちを持っておいしく、きれいに食べましょう。「いただきます」「ごちそうさま」。ちゃんと言ってるかな？



「食」で活きる✻

◉生活習慣病予防を考えて食べよう

「健康づくりボランティア養成講座」に参加の皆さん（写真右下）。健康な時間の長い長生きを目指して健康づくり真っ最中です。栄養バランスのよい食生活を心掛けましょう。

◉日本型食生活を目指して食べよう

米を主食とするバランスの良い日本型食生活に、富山の新鮮な野菜や魚を使った富山型食生活。富山県食育推進会議のホームページではレシピを紹介しています。

▼ホームページアドレス

http://www.pref.toyama.jp/sections/1600/syokuiku/howto_syokuiku/fr.html

◉安心だから安心して食べよう

安全性太鼓判の証「元気たてやま認証農産品」認証シール（写真右）が貼られた農産物がたくさん販売されています。近所の直売所で手にとって新鮮なおいしさを食べてみてください。

食を育むものがたり
立山町食育推進計画を策定

町は、昨年度に町食育推進計画策定委員会（委員長・嶋田満里子新瀬戸小学校長）で検討された意見を踏まえ「立山町食育推進計画～食を育むものがたり～」を策定しました。今月号では「立山町食育推進計画」について紹介します。

食育とは？～もうひとつのものがたり～

4月号までのあらすじ

智育、体育、徳育の基礎となり、それを学ばないことは迂闊（うかつ）の至りだと、明治期のヒット小説の中にも謳（うた）われた「食育」。しかし、食育はその重要性もろとも歴史の激流の中に呑（の）み込まれてしまいます。時は流れ、日本は世界に冠たる大国となり、食はあふれんばかりに豊かになりました。そんな時、ついに事件は起こります。「食」の安全が信用できない！？

皮肉にも、これが食育を再び目覚めさせるきっかけとなります。再び目覚めた食育、そして生まれた「立山町食育推進計画～食を育むものがたり～」。

立山町食育推進計画が生まれたわけ

国は平成17年に「食育基本法」を施行し、平成18年3月には「食育推進基本計画」を作ります。続いて平成18年8月には、富山県が「富山県食育推進計画」を策定しました。立山町の計画は、これらに基づきながら立山町らしさをちりばめて作られることになります。

さて、皆さんは現在、立山町で行われている食育活動をどれだけご存じでしょうか？食育と一言でいっても、それは幅広いものです。この幅広さを十分に活（い）かし、なにより活動している本人たちが楽しんでいる、それが立山町の食育です。

町内には新鮮な農産物を扱う直売所が20近くを数え、学校給食の食材には立山町産が取り入れられ、郷土料理の調理実習や男性のための料理教室が開催され、食育ボランティアの方々はバランスのよい食生活を推進し、子どもたちは農業体験を楽しみ・・・と、数え上げればキリがないくらいです。

この機運を逃してはならない！立山町の食育計画はまさに今、活発に行われている食育活動同士をつなげて後押しし、さらに新しいステップを踏み出すきっかけとしての役割を担うために生まれました。

重点目標

❶元気なこどもの育成

子どもたちの食育は、最も重要です。「食」について知ること、「食」を選択する力を養うこと、そうして生きるために必要な力をつけます。

立山町の学校に通う子どもたちはみんな、農業体験を経験済みです。だから、もうワンステップ！成長したじゃがいもを掘りに行くだけではなく、種芋を植え、草むしりをし、農家の方とふれあい、収穫を喜び合

昨年８月に大清水地内の畑で行われた枝豆の収穫体験。子どもたちは、地元農家の方に指導を受けながら自分たちで収穫した枝豆を手にして大喜びでした

⬇発行する立山町食育推進計画。町内の小中学校や保育所・園、食育ボランティアなどに配布します

う、こんな農業体験を続けてほしいと願います。さらに自分たちで汗した作物を食べて「おいしい！うれしい！ありがとう！」こんな気持ちを感じてほしいと願います。

2 健康で長生きする人生

おなかのお肉をつまんで「はぁメタボ・・」とため息をついていませんか？現代は長寿の時代です。しかし、重要なのは、豊かな人生を生きるために〝健康な時間の長い〟長寿を目指すことです。「食」を選別する力をさらに培い、「食」を楽しむことが望まれます。

ダイエット。特に女性は、人生の命題化としている方も多いのではないでしょうか。でも本当に太っていますか？無理なダイエットで健康を損なっては本末転倒です。また、本当にダイエットが必要な方も、必要な栄養素すらとらない不健康ダイエットではなく、食生活を見直すよい機会として健康的に肥満解消を目指してほしいと願います。町では、食育ボランティアの皆さんが食生活についてたくさんのアドバイスを行っています。

←平成19年に町食生活改善推進協議会が、日ごろ家庭で作っている野菜たっぷりメニューや郷土料理を紹介した本「ヘルスメイトの食卓」を発行し、保育所・園の父母らに配布されました

3 地域の活性化

「食文化」という言葉があるように「食」は文化にまで昇華できるものです。さらにそれは地域の風土に応じた個性ともなります。地元で採れる新鮮な野菜は旬を教えてくれ、季節を感じさせてくれるでしょう。生まれ育った地で採れる農産物は、その地に生きる人の身体に一番合っていると言われ、身体に優しくなじみます。

皆さんの自宅近くにも直売所がありませんか？並んだ農産物はスーパーほど豊富ではありません。でも季節感豊かに新鮮な味と安全・安心を届けてくれます。また、立山町の学校給食で使われるお米は、すべて立山町産米です。他の食材も立山町産農産物が取り入れられています。地域の豊かな「食」を楽しみ、伝えていくことが期待されます。

4月から町内7小学校の給食に立山町産米で作った米粉パンが導入されました。子どもたちからは「もちもちしていておいしい」と好評です

4 環境との調和

立山町は、環境について早くから取り組んできました。そして21世紀は環境の世紀といわれ、世界的に環境問題が危惧されています。立山町の食育であるからこそ「食」の面から環境を考えることが必要です。

既に、リサイクルなどのノウハウを多くの方がご存じです。では、もう一歩進んで、そもそもゴミを減らすことを考えてみます。食べ残しを減らす工夫。無理やり食べきることではありません。冷蔵庫を食品の墓場にしない。上手な野菜の保存方法や食品を使いきる調理法、いわゆる〝おばあちゃんの知恵〟を活用してみましょう。「もったいない」と思う気持ち、思い出してみてください。

それぞれの役割

この計画は、行政が主導して進めるというものではありません。立山町で活躍する多くの食育関係の皆さんや、それぞれの立場・場所で地域の力となって多様な活動をしている皆さんを応援し、後押しするものです。そして、これまで「食育ってなあに？」と思っていた皆さんを巻き込んで、町全体で「食」を知り、「食」を楽しみ、「食」で活きることを目指しています。

食育は幅広い分野に及ぶため、誰もがなんらかの役割を担うことができます。

家庭では親から子へ伝える味があるでしょう。学校や保育所などでは、集団生活で学ぶマナーや授業の中で「食」について学習・体験するでしょう。地域で活躍する食育関係の団体や農家の皆さんは専門的な立場から意見や指導ができるでしょう。行政は、立山町の豊かな食を皆さんに伝え、食育に携わる方やその活動を紹介し、時には連携し、時にはコーディネーターとなれるでしょう。そして、町民の皆さん一人ひとりは、日々の生活のあらゆる場面で「食」について知り、考え、豊かな人生を生きる力を育むことができるでしょう。

基本理念

「食」は正に「命」です。立山町食育推進計画は、こうした「食」の重要性とわが町で行われている命を育む食育活動を多くの方に知っていただき、より大きな力となることを期待しています。

「生涯にわたり豊かな命を育むために、地域力を活かして、食について考える力、選択・判断する力を身に付け、健やかに生きる力を培います」。これを立山町食育計画の基本理念とし、さまざまな食育推進の取り組みを応援していきます。